

授業科目名	成人看護学概論		担当教員	◎岡本明美、千葉恵子、 松本幸枝、路 璐、鈴木玲子	科目ナンバリング NS258
必修	開講年次：2年前期	単位：2単位	授業形態：講義30時間		

【授業概要】

成人期にある人の生活や健康を包括的に理解するうえで、現代を生きる成人の健康生活を多角的にとらえ、成人期にある人を対象とした看護の基盤となる考え方や理論と援助方法を学ぶ。

【達成目標】

1. 成人期にある人の健康問題の特徴について説明できる。
2. 成人期にある人を看護するための基本的な考え方について説明できる。
3. 健康の保持・増進に取り組む成人と看護のあり方について説明できる。
4. 健康状態が急激に悪化した成人の特徴と看護のあり方について説明できる。
5. 慢性疾患と共存する成人の特徴と看護のあり方について説明できる。
6. 人生の最期のときを迎える成人の特徴と看護のあり方について説明できる。
7. 成人看護における倫理的課題と看護師の役割について説明できる。
8. 成人患者を対象に看護過程が展開できる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|--|-----------------|
| [01] ガイダンス：成人看護学とは | (岡本) |
| [02] 成人をとりまく今日の状況：家族、生活スタイル、環境問題、死生観 | (岡本) |
| [03] 成人期にある人々の健康①：健康とは、保健・医療・福祉政策と健康問題 | (岡本) |
| [04] 成人期にある人々の健康②：生活習慣・職業・ストレス・セクシュアリティに関連する健康問題 | (岡本) |
| [05] 成人期にある人を看護するための基本的な考え方：セルフケア、大人の学び、意思決定支援 | (岡本) |
| [06] 健康の保持・増進に取り組む成人と看護のあり方 | (岡本) |
| [07] 健康状態が急激に変化し急性の状態にある成人と看護のあり方 | (岡本) |
| [08] 慢性疾患と共存する成人と看護のあり方 | (岡本) |
| [09] 生活の再構築を必要としている成人と看護のあり方 | (岡本) |
| [10] 人生の最期のときを迎える成人と看護のあり方 | (岡本) |
| [11] 看護過程の展開(講義) | (千葉) |
| [12] 看護過程の展開(グループワーク)：アセスメント、問題の明確 | (岡本・千葉・松本・路・鈴木) |
| [13] 看護過程の展開(グループワーク)：具体策の立案 | (岡本・千葉・松本・路・鈴木) |
| [14] 看護過程の展開(講義)：評価 | (千葉) |
| [15] 成人看護における倫理的課題と看護師の役割 | (岡本) |

【教科書】

林直子他編集(2022)、看護学テキスト NiCE、成人看護学 成人看護学概論(改訂4版)、南江堂

【参考書】

図説国民衛生の動向 2021/2022 厚生労働統計協会／編集

【評価方法・評価基準】

筆記試験：80%、ミニテスト5回：10%、看護過程に関する課題：10%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業内容に合わせて教科書等を読む。授業時に提示された事前学習課題を行うこと。

事後学習：講義資料をもとに学習内容を復習し理解を深める。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅲ. チーム医療におけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

筆記試験問題の解答は何らかの形で開示する。

【備考】

特になし